

平成29年

第 93 号

大 鋌 協

9 月 20 日

発 行

ホームページでも
ご覧いただけます

大阪鋌螺卸商協同組合

<http://www.daibyokyo.com>

「横浜市開港記念会館」 藤澤 義 弘

- ◇第47回通常総会 開催…………… 2
- ◇日本ねじ商連 第42期通常総会…………… 3
- ◇組合だより…………… 3
- ◇新三役就任挨拶…………… 4～6
(増谷理事長、鈴木副理事長、藤澤副理事長、
中上副理事長、武田専務理事)
- ◇BCP策定支援セミナーを開催…………… 7
- ◇委員会だより…………… 8～10
- ◇支部だより…………… 10～11
- ◇随想投稿欄…………… 12～14
(石江智樹、佐藤裕英、辰巳雅幸、
辻 宏二、宮田圭吾)
- ◇関西ねじ協同組合と合同行事…………… 15
(ゴルフコンペ、ハイキング)

目

次

- ◇OS会の頁(下村崇史、藤本翔平)… 16～17
- ◇2018年版ファスナーカレンダー…………… 17
ねじ手帳 ダイアリー発刊
- ◇スリーポンド 特殊発條興業を見学…………… 18
- ◇第30回F E S Tセミナー開講…………… 19
- ◇第43回ボウリング大会…………… 19
- ◇第69回野球大会…………… 20～21
- ◇第 8 回 ランニング同好会…………… 21
- ◇[シリーズ]私の宝物(岩崎暁生)…………… 22
- ◇表紙のことば(藤澤義弘)…………… 22
- ◇今後の主な年間スケジュール…………… 23
- ◇協賛広告…………… 24

通常総会で三役が再任 増谷理事長、二期目へ

第 47 回通常総会が 5 月 26 日にヴィアール大阪 (大阪市中心部) において開催されました。当日は平成 28 年度の事業報告や決算報告、平成 29 年度事業計画及び収支予算など計 9 議案について審議を行い、いずれも原案通り承認されました。

総会は総務委員長である宮川勝氏が司会進行を務め、初めに組合関係物故者の冥福を祈り黙祷が捧げられました。増谷理事長より開会の辞が述べられた後に野島製作所の野島淳氏を議長として選出し、計 9 議案の審議に入りました。



就任の抱負を述べる
増谷理事長

上程された議案は①平成 28 年度事業報告、②平成 28 年度収支決算、③平成 28 年度剰余金処分案、④平成 29 年度経費の賦課する額ならびに徴収の時期およびその方法、⑤組合借入金残高の最高限度額、⑥平成 29 年度事業計画、⑦平成 29 年度収支予算、⑧理事及び監事の選任、⑨その他一の計 9 議案で、いずれも原案通り可決・承認されました。

役員改選では理事長として現・理事長である増谷彰彦氏が再任。同じく副理事長には鈴木啓次氏、藤澤義弘氏、中上真一氏、専務理事として武田等氏の各氏が再任されました。増谷理事長は就任の挨拶として「当組合の理念を継承しながら事業を進めていきたい」旨抱負を述べられました。

このほか総会では増谷理事長からの提案として本総会をもって執行部役員を退任する大喜多正己氏、小西弘美氏、隅田彰三氏、久保

哲也氏、鈴木偉之氏、竹上浩史氏の各氏に記念品が贈呈されました。議長の退任を経たあと、総会は武田専務理事による挨拶をもって閉会となりました。

続いて行われた懇親会では、近畿経済産業局、大阪府商工労働部、大阪市経済戦略局、大阪府中小企業団体中央会、(一社)大阪卸商連合会らの来賓多数を交え、小林三洋相談役・理事の乾杯の発声で開宴となりました。組合員相互が懇親を深める中、中上真一副理事長による“大阪締め”で盛況裡に閉会となりました。



司会の宮川氏



議長の野島氏



総会の様子

新会長に筒井三男氏(神鉾協) 日本ねじ商連 第42期通常総会を開催

当組合が所属する日本ねじ商業協同組合連合会(渡辺昇会長)は、7月21日に横浜市の「ホテルニューグランド」で第42期通常総会を開催。役員改選が行われ、新会長として筒井三男氏(横浜鉾螺(株))が就任されました。

総会では司会を小泉伸仁監事(株)富士鉾螺)、議長を小林潔副会長(株)コバユウ)が担当。青木宏志副会長(株)青木製作所)の開会の辞に続き、渡辺会長は「同業者はライバルでありながらも“ねじ仲間”と思って、自社の事業継承だけでなく企業規模に関わらず組合活動も継承し、各地域の組合の力を商連に結集して頂きたい」旨挨拶されました。

また新会長に就任した筒井氏は「これからのねじ商連及び各組合、さらに業界全体の課題は“継承”だと思っている。その為には業



筒井三男新会長

界の地位向上、そして各組合活動の活性化が必要であり、会員各位の協力をお願いする」と話しました。当日の議事では全議案が拍手多数により承認されました。また藤田守彦副理事長の閉会の辞の後、当日は懇親会が開かれました。

組 合 だ よ り

◇表彰関係

受賞おめでとうございます。

◎大阪中小企業団体中央会

組合経営功労者

- ・太陽ファスナー株式会社
代表取締役 馬淵 健司 氏
(平成29年9月)

◇新社長就任

○中央支部所属

- ・株式会社 ゴトウ
代表取締役 石江 多加子 氏
(平成29年7月)

◇組合新規加入

○中央支部所属

- ・ケイエスティ株式会社
取締役社長 佐藤 邦夫 氏
(平成29年2月)

◇訃報

○西部支部所属

- ・有限会社 有本螺旋製作所
取締役会長 有本 晴一 氏
(平成29年2月3日ご逝去)

ここに謹んで哀悼の意を表し、ご報告致します。

全員で

理 事 長 増 谷 彰 彦

【就任挨拶】



この度理事長に再任されました増谷でございます。就任にあたりご挨拶申し上げます。浅学菲才でございます。理事長という大役を今期もお受けいたしました、ひとり

でできる器ではございません。三役、理事、そして組合員の皆様方のご支援ご協力、ご参加をもって何とか務めさせていただきますと思います。

副理事長にアサヒアベックス(株)・鈴木様、(株)コムウエル・フジサワ・藤澤様、弘陽工業(株)・中上様、専務理事には(株)三晃商店・武田様をお願いいたしました。三役は前期同様でございます。今期も組合運営に役立てる役職になろうかと思ひます。

そして総務委員長にミヤガワ金属販売(株)・宮川様、経営委員長にアジアプランニング(株)・近藤様、労務委員長に(株)梅田精密・梅田様、業務委員長に(株)垣内螺子商会・垣内様、福利厚生委員長にNBファスナー工業(株)・西出様、広報委員長に(株)北川製作所・北川様、JIS検討委員長に井上金属工業(株)・井上様をそれぞれ選任させていただきました。EDI委員会は総務委員会に移させていただきました。

平成 28 年度のわが国経済は、緩やかな回復基調にあると言われておりましたが、中小企業においては、消費の低迷や人手不足などによる先行き不安がありました。本年度になり雇用状況はいまだに厳しいものの、所得環境の改善が続く中で、個人消費が回復の兆しを見せ、企業部門では輸出の増加などをうけ、生産が拡大基調にあるほか、設備投資も底堅く推移しており、回復に向かっていると思われます。

海外経済に目を向けますと、トランプ政権

問題・北朝鮮問題・テロなど国際情勢の緊迫化や不透明な状況は依然として続くものの、海外経済の回復を背景に、アジア向けを中心とした輸出が好調で、GDPはプラス成長を続けております。しかしながら、中小企業においては、人手不足、原材料・燃料価格の上昇が、その回復を実感するまでには至らず、厳しい経済環境が続いております。

鉄螺業界におきましても我々の扱い商品の鉄螺・ねじ・締結部品は生産財であり、幅広い業界に関わっており、厳しい状況で推移しております。そのような環境の中で、大阪鉄螺卸商協同組合では、鉄螺流通業の育成発展、組合員の社会的、経済的地位向上を図るため、各委員会が活動しております。

総務委員会では、総会や忘年会の設営。特に 3 年後の 2020 年は大阪鉄螺卸商協同組合が創立 70 周年を迎えることとなります。活躍に期待しております。経営委員会では、後援会の設営、FP セミナーを開催。労務委員会では、工場見学、FE セミナーの開催。検定制度も他団体からも大変注目されております。今年が第 1 回目ですので、皆様ご協力お願いいたします。業務委員会では、各種出版事業で組合に大変貢献いただいております。福利厚生委員会では、野球大会、テニス大会、ボーリング大会で各組合員の親睦が図れております。

広報委員会では、組合機関紙『大鉄協』の編集、企画。今年は大鉄協の旗も作る予定です。JIS 検討委員会では、新規格の研究。このように当組合では、順調かつ健全に運営されております。また、関西ねじ協同組合様との合同で親睦も含め活発に活動しております。

「全員参加」「全員行動」「全員飛躍」「全員感謝」という気持ち、また至誠を持って、アクティブに組合運営にあたり、組合員の皆

様と共に行動発展していきたいと思っております。

当組合も、歴代理事長、役員、組合員の皆様

に支えられ、60 年以上の歴史を刻むことができました。どうか皆様今後ともご協力、ご支援のほどお願い申し上げます。

二期目の副理事長就任

【就任挨拶】

副理事長 鈴木 啓 次



この度の総会で二期目の副理事長に就任、三役全員が二期を務める事となりました。理事長より「やり残した事があるような気がする。皆、もう一期やってくれへんか?」

との言葉で理事長を全員

一丸となって盛り立ててゆく決意です。

前期は、BCPの講演を聞き組合事務所を安全で使いやすい場所にとすることで少し綺麗になりました。皆様も一度立寄ってみてください。

また関西ねじ協同組合様と合同で何かでき

ないかという事で年に数回、お互いの理事が集まり情報交換や共同の催しを企画することとなりました。とりあえず、ゴルフコンペ・ランニング同好会の共催そして関西ねじ協同組合様の勉強会への参加をさせていただく活動をしています。また本年度はねじ川柳の募集などを企画しています。

このような企画を色々とやってゆくことでお互いの組合が、よりよく又ねじ業界の認知につながればと思っています。本年度もスムーズに組合運営を行っていただけますように皆様のご意見、ご協力を賜り頑張ってゆきます。どうぞ宜しくお願い致します。

増し締めし直します

【就任挨拶】

副理事長 藤 澤 義 弘



組合各位や関係各位のご指導、ご協力を戴き一期二年を務めることが出来ました。組合運営に対して暗中模索の手探りの状態であつという間の二年間でしたので、皆様から観れば頼りのない思いをしている方はいら

っしゃるのではと反省をしております。

この二年間 増谷理事長の判断の早さ、行動力の早さのお陰で本来の下名の職務を補って戴いた事も反省の繰り返しです。

続けて拝命した一期二年は過去を反省して振り返り、多少の経験と共に 増谷理事長並びに三役各位・理事各位と共に組合運営に対して努めます。

努めて考える事は、出来る限り組合各社・社員各位が、組合のさまざまな活動に対して理解を戴ける様な説明や配信はどの様にすれば良いのかです。そうして、出来るだけ多くの方々にさまざまな活動に参加を戴ける為の組合運営です。

今迄以上に皆様からのご指導を戴きたく何卒宜しくお願い申し上げます。

二期目に向けて

【就任挨拶】

副理事長 中 上 真 一



この度の総会で二期目の副理事長を務めさせていただく事になりました。大変恐れ多いことですが、初心に帰って一所懸命頑張りますので今期もよろしくお願いします。

一期目を振り返りますと、副理事長として増谷理事長を盛り立てるべき役割だったはずですが、結局理事長に甘えてしまってお役に立てずただその場に居ただけだったように思います。二年前のこの紙面で“理事長の手足

となって”とか“身を粉にして”等と書いていたことに、我ながら恥ずかしさと申し訳なさで、穴が有ったら入りたい気持ちです。ミサイルが飛んで大騒ぎになる世相を考えると尚更入りたくなります。

冗談はさておき、前期の反省を踏まえ、今期こそは一期分の経験もあることですから、何としても理事長のお役に立てるよう一所懸命に頑張りますので、もう一期忍耐強くお付き合いいただいて、皆様のご支援とご協力をいただけますよう何卒よろしくお願い致します。

専務理事就任に当たって

【就任挨拶】

専務理事 武 田 等



この度、増谷理事長のご指名により専務理事の重責を拝命いたしました武田です。微力ながら、精一杯務めさせて頂きすので、よろしくお願い致します。

「大鉾協での専務理事の仕事とは何？」

よく聞かれる質問です。大きく分けて二つあると言われています。一つは会計理事としての役割です。もう一つは、組合運営を効率よくおこなうための対内的な役割です。こちらは先輩からの受け売りですが、総会で決められた事業計画、事業予算を基本に三役会・理事会・委員会で運営し、理事長の指示の下、組合活動の軸となる事務局の活性化を行い、全ての組合員の方々とより親密に連動させ、少ない負担で効率よく活動できるように調整

していく事、と教えて頂きました。この教えを尊重して活動していきたいと考えています。

最近の組合活動を見ていますと、ここ数年若い方の参加が増え、着実に世代交代が行われているように思います。このような変化の中で、多くの諸先輩方が築かれた精神を受け継ぎつつ、事務局の一層の活性化に向けた改革を事務局員と共に進めて参ります。

今期の組合活動では、皆さんのニーズを理解し、すべての組合員の皆さんが参加でき、利用できる活動を目指し、組合としての必要性をアピール出来ればと思っています。

私も二期目となります。この二年間の経験を活かし、理事長の下、組合員による組合員のための組合運営を目指しますので、皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い致します。

経営委員会 BCP策定支援セミナーひらく

経営委員会（桂知伸委員長）は 2 月と 3 月にそれぞれ「BCP（事業継続計画）の策定支援セミナー」を開催しました。当日は BCP の基礎知識について学んだほか、1 回目のセミナーでは大地震を想定した初動対応訓練を、2 回目のセミナーでは実際に BCP を策定するワークショップを行いました。

1 回目のセミナーでは初めに桂委員長が「今回は BCP の策定支援セミナーということで三井住友海上火災保険様の支援を得て開催することが出来た。当組合の理念である『全員参加』



挨拶する桂委員長

ではないが、年始より多くの方にご参加頂き御礼申し上げる」旨挨拶。続いて増谷理事長が挨拶に立ち、「組合の中でも今年 90 周年を迎える企業があるが、事業継続は経営者の課題であり今日と 3 月のセミナーを是非とも活用して欲しい」旨話しました。

第 1 回目のセミナーでは初めに講師の小島氏（インターリスク総研）による BCP の基礎知識に関する講義が行われました。講義では初めに南海トラフ巨大地震を想定した加振実験の様子が紹介され、続いて小島氏により地震の際安全を確保するために注意すべき点が解説されました。同氏によれば、大阪府は南海トラフ巨大地震のほか 4 つの地震を想定しているとのことで、講義後に行われたワークショップではこの中に含まれる上町断層帯地震（推定マグニチュード 7.5～7.8）の発生を想定した初動対応訓練が行われました。

訓練の内容は「災害対策本部が地震発生後から約 5 時間の間に実行しなければならない活動を約 1 時間で疑似体験する」というもので参加者は午後 1 時に大地震が発生したという想定のもと架空の企業「大阪鋳螺卸株式会社」の災害対策本部を立ち上げ、社員の安否確

認や負債者の対応、情報収集を行いました。

訓練後の講評では、小島氏は「最初から 100% を目指さないことが大切」と話しました。また参加者からはワーク後の振り返りでは「負傷者の対応に迷った」「素早く判断で



講師の小島氏

きたが内容に自信が無い」など、対応の難しさを振り返る声が多く聞かれました。

3 月 10 日に行われた第 2 回目のセミナーでは初動対応訓練を実施した第 1 回目続き、「初動対応」と「復旧対応」にそれぞれ焦点を当てながら実際に BCP を策定するワークショップを行いました。

小島氏は BCP の策定について、「より実践的なマニュアルの策定のためには『5W1H』を念頭に置くことが重要だ」と話しました。また、「復旧対応は企業によって何を重点に置くか異なる。すぐに作成できない箇所もあると思うので後日社内で作り込んでほしい。策定後は社内研修を行うことが重要だ」と話し継続的な取り組みを呼びかけました。



ワークショップの様子

委員会だより

F E 検定、今秋スタート

労務委員長 梅田 真吾

本年度労務委員長を務めさせていただきます(株)梅田精密の梅田真吾と申します。平素は労務委員会の活動にご理解をいただき、各種セミナーに多数のご参加を賜り、誠にありがとうございます。

さて、今回は今秋スタートすることが決定しております「F E 検定」について、ご案内をさせていただきます。

「F E 検定」は、毎年開講されているF E セミナースタANDARDコース(以下S T コース)の習熟度を判定するために実施し、大鉄協の組合認定制度として発足すべく準備を進めてきました。検定の基となるS T コースは、ねじに関する知識を幅広く、より深く理解できるよう2日間に渡りプログラムされております。「社内ねじ技術講習の先生に成り得る人材の育成」を目標とし、歴代講師に支えられ、これまで30回に亘り継続されてきました。

現在では、第三者認証機関である(株)NQA-JAPANに、監修の立場でS T コースに参画していただいております。「F E 検定」についても、そのレベルを均一に保つお手伝いをお願いしております。当然毎年試験問題は変わっていきませんが、合否判定はいつでも同一と考えていただけますので、社内評価制度にもご活用いただけたと考えております。

さて、「F E 検定」は基本的にS T コース受講生を対象としておりますが、諸事情により受講できてない組合員の皆様にも門戸を開いております。検定問題は、S T コースで学習するねじの規格・材料・熱処理・表面処理・品質管理の5つの単元からの出題を予定しており、ねじ規格全般を網羅していると認識していただければ結構です。

皆様に、この「F E 検定」を有効活用していただけるよう労務委員一同頑張ってお参りますので、奮ってのご参加をよろしくお願い申し上げます。

◆第1回「F E 検定」試験要項

- ①日時＝2017年10月25日水曜日
14時～15時
- ②会場＝鉄鋼会館5・6号会議室
- ③定員＝50名
- ④受検対象者＝大鉄協組合員限定
- ⑤受検料 3000円(免除制度あり)

おもてなしを重視した行事作りを

総務委員長 宮川 勝

残暑お見舞い申し上げます。昨年に引き続き、本年も総務委員長を務めさせていただきます(株)ミヤガワ金属販売(株)宮川と申します。平素は総務委員会の活動に対し多数の参加を賜り、誠にありがとうございます。

総務委員会の年内行事に関しては、年末恒例の忘年会を12月1日スイスホテル南海様にて開催致します。今年も豪華景品を用意したビンゴ大会や催し物を多数用意しております。参加者の皆様に飽きのこない様総務委員の新メンバーも精一杯頑張っていきます。今迄と違った色を見せるおもてなしをご期待ください。

又新年互礼会については関西ねじ協同組合様との合同新年互礼会となります。平成30年1月12日 シティプラザ大阪にて開催されます。関西ねじ様と一致団結してよき新年を迎えたいと思います。年末年始お忙しい時期ではございますが、多数の方の参加お待ちしております。

初めての経験につき!

福利厚生委員長 西出 倫明

残暑お見舞い申し上げます。今期より委員長を仰せつかりました。もう何年も福利厚生委員を受けさせて頂いておりましたが判らないことだらけで先輩方や委員の皆さん、事務局、プレスの方にご協力頂き何とか第69回野球大会予選2日間を終えた所です(8月10日現在)。

今年は天気にも恵まれ大会自体は順調に進

んでいますがこの間2名の負傷者が出ました。楽しい思い出が痛い思い出になった事は残念でなりません。本当に暑期中必死なプレーが随所に見られ、好プレー珍プレーがあり応援団も盛りあがっていました。スポーツに怪我は付物ですがやはり皆の楽しい思い出に成るよう注意を払っていきたいと思います。この冊子が発刊される頃には準決勝・決勝も終わり優勝チームも決まっている事でしょう

福利厚生では次回の催しが10月22日の第9回テニス大会になります。各社社員の皆さん「ラケット持ってたな」程度で十分参加可能ですので気楽にご参加下さい。

来年の3月4日には第44回ボーリング大会も御座います。今回は社員さんの子供達が参加しやすい様に工夫出来ればと思案中です。子供達の多数ご参加お待ちしております。

何分不慣れな委員長ですが、良い福利厚生の催しになるよう勤めますので皆さんご協力ご参加の程よろしく御願い申し上げます。

各種事業へのご協力お願い

業務委員長 垣内 龍夫

さて、本年度より大鉄協も増谷理事長を筆頭に新体制で動き始めました。業務委員会も副委員長に園田鉄螺(株)の園田社長様をはじめ新しい委員の方々のお力添えをいただき、少しでも理事長のお役に立てる様努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。また組合では70周年の記念事業を控えています。そこで業務委員会といたしましても財源の確保に少しでも寄与できます様に組合員各社様には当委員会の各種事業にご理解を賜り、ご協力をいただきます様お願い致します。

すでに本年度も販売事業の3本柱ファスナーカレンダー、ねじ手帳、A5ノート版ビジネスダイアリーの予約販売を実施しておりますが、お蔭様で順調に進んでおります(8月18日現在)。またカーリース、各種保険、共同購買に関しましても手数料が組合財源の一旦を担っておりますので、重ねてご協力をお願い致します。カーリース、各種保険に関しましては、組合事務局と各業者が直接お伺いし、営業を

させていただくこともございますのでご了承ください。

今後、販促品の企画も考えておりますのでその折にはご協力を賜ります様重ねてお願い申し上げます。

ニーズと時局に沿った勉強会を目指して

経営委員長 近藤 淳

9月の声を聴き、酷暑も少し緩んで来たような気がいたします。平素は経営委員会、活動にご理解とご協力を賜り深謝申し上げます。

去る7月5日、各支部の経営委員の皆様にご参集頂き、経営委員会を開催し、今後の活動方針を協議いたしました。もとより経営委員会の活動の目的は会員各社経営層を対象に、経営に役立つ講演会や勉強会を企画実行することです。今回の委員会でも、その目標に沿った討議が行われました。

真に経営層が望む勉強会といっても、各社の置かれた経営環境は様々で、一概に論じることには出来ないと思います。経営委員会においては最大公約数的な演題を選ぶと同時に、本年度は会員各社へのアンケート、その他の方法で時局に沿った経営課題を取り上げることで合意致しました。アンケート等、実施の際はご協力をお願い申し上げます。

さて、秋が過ぎますと年末の講演会が近づきます。今回は忘年会前と言うこともあり、幾分「華やかさ」を感じる演題を準備しております。どうぞご期待ください。今後ともよろしくお願い申し上げます。

今期の主な活動

広報委員長 北川 浩史

平素は広報委員会の活動にご協力を賜りありがとうございます。この度も『大鉄協93号』が無事発刊できましたこと厚く御礼申し上げます。

今年の夏は、猛暑かと思えば豪雨、洪水、土砂崩れが各地で発生し甚大な被害に胸が痛むニュースを数多く耳にしました。人間は自然災害の後に必ず「自然の力には勝てない」と口にします。もはや異常気象というより通

常気象と捉え災害認識の向上・事前の備えを思い知らされる夏でした。

広報委員長を仰せつかり2期目となりました。まだまだ未熟ではありますが、ご支援ご協力の程よろしくお願い致します。今期は広報誌発行と

共に、大鉄協の組合旗（組合ロゴマーク）を作成する大役を頂いております。皆様の知恵とセンスをお借りしたく全組合員皆様から募集し選定させていただきます。本年末までの完成予定で進めて参ります。乞うご期待下さい。

支 部 だ よ り

新たなページを

本田支部長 赤座 和宏

5月の支部総会において、今年度より支部長の大役を仰せつかまつりました赤座です。よろしくお願いいたします。

副支部長には(株)富士鉄工所の山本氏、竹上鉄螺(株)の竹上氏の2名、会計幹事に(有)川西製作所の川西氏、幹事に大喜多(株)の大喜多氏、(株)鈴木製作所の鈴木氏、(株)野島製作所の野島氏の7名にて支部運営を行ってまいります。

長年にわたって支部の会計幹事を務めていただいた(株)小川レール商会の小川様、大変ありがとうございました。これからは理事会へ活躍の場を移して、なお一層の飛躍を祈念いたします。

今年度の支部の活動としまして、9月に九条支部様のお世話によりまして合同のゴルフコンペ、同じく9月に、あまりにも有名だけど意外と生で観たことのある方の少ない「吉本新喜劇」を観ての食事会、11月に念願の海外視察旅行を阪神ネジ(株)の山里氏、(株)谷安鉄螺の谷川氏の両名のお世話により、近年ねじ関連企業の進出も著しいタイへ支部有志で行います。あと来年2月か3月頃にグルメ小旅行を計画しておりますので支部の皆様のご協力とご参加をお願いいたします。

近況報告

西部支部長 三木 茂晴

2期目の支部長をさせて頂くこととなりました三木です。副支部長に(有)本螺旋製作所の

有本さん、会計幹事に大弘鉄螺(株)の森口さん、幹事に大和鉄螺工業(株)の辻さん、サンコーインダストリー(株)の奥山さん、(株)サンワ・アイの熊田さん、計6名で支部運営をしてまいります。皆様どうかよろしくお願い致します。

6月に恒例の支部旅行&支部総会に行っていました。支部旅行先は、近鉄沿線の鳥羽です。おいしい海鮮の蒸し料理、ちょっと小さめの伊勢海老(身が引き締まった伊勢海老)を堪能してまいりました。鳥羽に行ったら必ず寄らねばならぬお伊勢さん！参拝させて頂きました。幸運の白馬にも会え、天気にも恵まれ、おいしいつまみ食いもさせて頂き、これで今年も西部支部は安泰じゃー。

おっと、忘れるところでした。今回の旅行の一番の目的は近鉄特急しまかぜに乗車することでした。その報告を。結論から言いますと、“近鉄さんやるねー”です。特急料金1000円程度であの広々としたマッサージ付の座席に電動リクライニングとは参りました。新幹線のグリーン席を軽く上回るとはすごいです。さらに、1000円追加すると和風個室等も使用できるとは、参りました。また、乗ってみたいです。今回は、しまかぜに乗るというシンプルな支部旅行でした。また、支部総会では上記6名の役員承認と、年度決算報告の承認を頂きました。

それにしても、年に一度の支部旅行&総会はいつも楽しいです。来年の旅行幹事さんもよろしくお願い致します。2期目ですが、だらけず気を引き締めて、支部が一致団結して、明るく楽しくをモットーに運営してまいります。2年間よろしくお願い致します。

明るい中央支部を目指して

中央支部長 桂 知伸

今年の夏も暑い日が続きましたが組合員の皆様は如何お過ごしでしょうか。本年度より小西前支部長の後を受け、支部長という大役を受け賜りました桂です。

思い起こせば約10年前までは支部活動には全く参加せず、連絡頂いても返信すらしていなかった私に元支部長の藤田さんから「そろそろ組合活動に参加してみては」とお誘いを受け、本年度からは支部長とは自分自身も驚きです。こんな私を受け入れていただいたのも諸先輩方が築き上げた中央支部の良さだと思います。

本年度は新会員のケイエスティ(株)様を含み22社でスタート致します。不慣れな大役ですが支部員の皆様よろしくご協力のほどお願い致します。

和気あいあいの納涼会

東部支部長 本田 裕久

今年も暑い日が続き体調維持が大変だったと思われませんが、大鉾協組合員の皆様は如何お過ごしでしょうか。東部支部の皆様におかれましては、支部行事にご理解、ご協力頂きいつもありがとうございます。今期より和田前支部長の後を受け、挨拶でいかに笑いをとるかを考え、緊張の日々を過ごさせて頂いております。

さて東部支部では恒例となりました納涼会を7月14日に本町の「CAFÉ GARB」に於いて、社員様含め72名という大人数で賑やかに開催いたしました。6年目という事もあり和気あいあいとした雰囲気の中で楽しい時間を過ごさせて頂きました。この会を楽しみにしているという方々も多数おられ、これからも続けていきたい行事となっております。

今後の支部の予定といたしましては、秋には11月4日にゴルフコンペ、11月17日～18日に懇親旅行(北陸方面予定)、年明け2月2日に新年会(場所未定)を計画しております。

今期は副支部長に(株)垣内螺子商会の垣内龍夫氏、会計幹事に園田鉾螺(株)の園田徳郎氏、幹事に(株)ホヅミの穂積道和氏、(株)オオヤマの大山寛之氏、大西鉾螺(株)の大西啓文氏の6人体制で2年間頑張ってます。支部の皆様、何卒ご参加のほどよろしくお願い致します。

今年も暑い(>_<)

九条支部長 平田 政弘

残暑お見舞い申し上げます。今年の夏も大変暑い日が続いております。

クールビズも浸透して来て仕事中的スタイルもずい分暑さに対してはラクになって来たハズなのですが… 年々暑さが増しているのか!?それとも自分の歳が暑さの堪える歳になって来ているのか!?色々考えさせられる今日この頃でございます。

前置きが長くなりましたが、今年度より支部長を仰せつかりました平田でございます。不慣れではございますが何卒宜しくお願い申し上げます。今後の予定は5月に支部総会も終わり、来春の支部旅行まで特に活動も無い状況ではありますが、その分支部旅行では皆さんに堪能して戴ける様な企画にてご提案したいと考えておりますので今暫くお待ち戴きたく宜しくお願い致します。

余談になりますが… 執筆中に夏の高校野球が始まりました。開会式の選手宣誓ですらウルッと来てしまうほどノンフィクションで綴られる甲子園でのドラマには毎年感動させられます。話題の早実/清宮君が出場できなかったのは残念ですがそれすら夏の甲子園のドラマの始まりを感じさせてしまいます。今大会のキャッチフレーズが「じぶん史上、最高の夏」だそうです。白いボールを懸命に追いかけて全力でプレーする姿に今年の夏も何度も胸を熱くさせられるのでしょうか(泣)。

九条支部の活動もそんな活動に出来ればと思いを馳せながら今年の夏も着々と時が過ぎて行くのであります。

随 想 投 稿 欄

東京五輪

(株)谷川精螺

佐 藤 裕 英

女性の年齢を推し量る時(50~60代ぐらい)大阪万博とか東京五輪の話題を振る。万博の<月の石>を見るのに何時間も並んだ、それも親に連れられてか、友達同士でか、その辺で現年齢は推測できる。東京五輪の話題で体操女子・ソ連のチャフラフスカとかの話ができれば、その人は確実に63以上と推測できる。チャフラフスカを噛んでしまう人はもう少し上の人かもしれない。

私は10歳で東京オリンピックを迎えました、新幹線が走り、高速道路ができて、家にはカラーTV、それも今思えば妙に家具調で、それでもうれしくて、街には外国人が行きかい、期待やら好奇心やらで、かなりの興奮状態の中<東洋の魔女>女子バレーのブルマー姿<水泳>女子の競泳用水着<体操>女子の…(そっちかよ!)小学生の私にはどれをとっても刺激的でした。水泳大国米国のショランダー、重量上げの三宅(ロンドンで銀・リオで銅の三宅宏美の父)陸上のヘイズ、マラソンのアベベ…私たちの小学校はマラソンコースに近かった為、全校上げてコースの両サイドで各国のランナーを応援にいきました(私は東京出身)。

あの時の注目はやはり、アベベ!「この目で本物のアベベを見たい!」って心待ちにしましたが、なかなか来ない。小学生はじーっとしてる事が大の苦手、待つのに飽きて違う遊びをしてるうちにあっという間に走り去って行ってしまったのです。結局我々悪ガキはアベベを見れなかったにもかかわらず同窓会で「アベベは裸足で走っていたか?」の話題で盛り上がったりするのです。その当時アベベ以外でも外人さん自体が珍しく、街で外人さんに出くわすと、それだけで緊張したり中にはサインを貰いにいく奴もいたようです。

インターネットも無い、携帯電話も無い、全てがアナログだった中で私にとっての<オ

リンピック>は、華やかで、壮大で、輝かしくて、心躍るようなお祭りでした。2020年のオリンピックが東京に決まった時の関係者の方々の抱き合って喜ぶ姿は我々にも伝わってきて、日本中が喜んだ瞬間でした。しかし、その喜びを引き裂くようにエンブレムの盗作問題・大会費用や競技場の問題・関東近県の各知事からの不満等々、私は落胆しました。子供たちの目にはどう映ってるのかな?

約200の国と地域・12000人以上の人々が参加する壮絶・壮大なお祭り!アスリートが繰り広げる筋書きのないドラマ。子供から大人まで、それぞれの記憶の中に忘れ得ぬスポーツフェスティバルとなるようにALL JAPANで創り上げていってもらおう事、楽しみにしています。何年経ってもそのシーンのひとつひとつがすべての子供たちの胸の中にいつまでも色濃く残るようなオリンピック!10歳の私がその目でみた 真っ青な空に描かれた五輪の輪、いつまでも心に残っています。

今はなきじいちゃん

(株)ゴトウ

石 江 智 樹

私はこの会社には働く予定はなく、元々は料理が趣味ということで料理の道へ下働きから始めようと店探しを始めた頃、祖父(前社長)が倒れ週3回透析をするために病院に通うことになりました。会社に出る日が少なくなり私の母親が手伝いに行くようになり、私も出荷作業やナットセットの手伝いをやり始めたのがきっかけで、鳴り止まない電話、流れ続けてくるFAX、それをこなす祖父、仕事終わりに見せるやりきった清々しい顔。それを見て私もやりきれる仕事をしてみたいと思ったのが始まりでした。

入社するにあたって、まず私は「他社がどのように仕事をしているのか見てみたい、客観的にみたゴトウはどんな会社なのか見てみたい」

と思い、どこでもいいから働く前に丁稚奉公に行かせてくれと頼んだところ「それなら一人で生活しながら辛い目にあってこい。地方に4年くらい行ってこい。それまではなんとか生きてやるから」と私を東京へ行かせてくれました。

そこではネジの基礎知識、商品知識、電話対応等、ネジ屋の孫ではなく他の新入社員と変わりなく育てていただき、教育が一通り終わると次は営業のやり方、見積りもののやり方を丁寧に教えていただきました。当時の上司に「なんでそこまで丁寧に教えてくれるのですか?」と聞いたところ、「それはお前のじいちゃんに同じように電話で怒られながら教えてもらったからその恩を返してるだけ」とのことでした。それを聞いた私は嬉しかったのですが1つ疑問が出ました。私の知る祖父は自分大好きのわがまま爺、お酒を浴びるように飲んで言いたいことと言って寝る。そんな祖父。恩を感じるようなことをしているイメージを持てませんでした。

丸4年が経ち丁稚奉公後ゴトウへ帰ってきた頃には祖父は体力も落ち4年前の面影はなくなっていました。上司が言っていた恩が何なのかは、どんな仕事でも全力に、電話は誰よりも早くとろうとする姿、困ったお客さんにはそのためだけにトラックを出してでもやってあげる、その姿勢がああ言葉に繋がるのだとわかりました。

祖父からは仕事のイロハは教えて頂けませんでした。が亡くなる直前まで会社を気にかける姿は今となれば宝物です。

享年84歳、仕事一筋

「うちの仕事は尽して尽して尽くす」

あなたの大きな背中忘れません。

生きていた頃ゴルフはやった方がいいぞと言っていたのでこれを期に始めようとおもいます。まずは練習から誘って頂けるとうれしいです(笑)。

友達

田原(株)

辰 巳 雅 幸

今年43歳を過ぎて「友達」と言うと笑われるかもしれないが、自分には友達が5人いる。

皆、高校の同級生で男2人、女3人。今の時代、インターネットなどを通じて「私には友達が数百人いる」と言う人も多くいると思うが、今の自分にはこの友達を誇りに思う。

メンバーを簡単に紹介すると、最初に高校生の息子を2人もち自宅でマツ毛のエクステを営んでいるママさんテニスが趣味のNさん。つづいて、常に成績トップクラスで優秀且つ皆のマドンナ的存在だった猫とお酒を愛するIさん。つづいて、中学3年生の一人娘がいる様には見えない女の子で昔から一番オシャレで一番泣き虫なUさん。

つづいて、高校時代からお笑い担当はこの男。常に周りを明るくしてくれて学年では人気者。今では3人の女の子の父親を真面目にしているI君。次は両親が個人スーパーの経営をしていて弟と一緒に手伝いをしながら年中無休のごとく働いていて一番男気のある面とフィギュアを集めている可愛らしい面を持つ唯一独身のY君。最後に自分だが、中学3年の一人息子がいるごく平凡な家庭でごく平凡な性格と自分では思っているが照れくさいので省略。こんなメンバーで集まっている。

20代から30代にかけてはそんな多く集まる機会がなかったので今でも新鮮な感じでもある。毎回色々な話をそれぞれが「待ってました」と言わんばかりに話し出す。年齢のせいなのか自分達の病気の話とか親の健康状態の話が多くなってきているが、多くはいつまで経っても学生時代の思い出話が尽きない。時には口論になったりもするし泣いたり笑ったり、同じ歳で自分とは違う目線での話が聞けるのが面白い。もちろん、同じ歳だからこそ皆には負けなれないと言う闘志みたいなもので生まれる。

高校を卒業してから25年くらい経とうとしている。誰にでも大切な友達はあるし、決して自慢できるような話でも無いが今の自分とはとても大切な友達で、将来はお互いの耳が遠くなり、背骨が曲がって足腰が弱くなりながら皆で笑い合っていたいと思っています。

こんな事を友達の前で面と向かって言えそうにないので今回この様な機会をお借りして書かせてもらいました事、お礼申し上げます。何十年先のいつの日か、友達5人にこの投稿を読んでもらい笑い合えます事を願います。

野球観戦

松島ネジ(株)

宮 田 圭 吾

私の家族はプロ野球セントラルリーグの大阪タイガースファンです。我が家では食事しながら野球観戦を楽しみながら阪神タイガースを応援しています。

1992年夏頃に、初めて阪神タイガースの本拠地である、阪神甲子園球場に家族全員で行きました。球場に入ると迫力のある大きなグラウンドで、自分が野球をしたくなる素晴らしい所だと思いました。私が居たレフト外野スタンドには私と同じタイガースファンだけで楽しく、応援の熱気と連帯感にテレビ観戦では絶対味わえないプロ野球の楽しさや面白さがありました。

その試合は阪神タイガース対ヤクルトスワローズで、約3時間を超える熱戦の試合でした。結果は4対2で阪神タイガースが見事勝利。その帰りに、球場の中にある阪神タイガースショップに立ち寄り、下敷きとキーホルダーなどの買い物をして、今日の試合を振り返りみんなと熱く話しました。私は、まだ当時買ったグッズを捨てずに大事に持っています。

最後に、私は社会人になっても相変わらず阪神タイガースが好きでファンクラブにまで入っており、阪神甲子園球場で試合がある時はその当時の事を思い出しながら行きました。

阪神タイガースの過去の成績は、リーグ優勝9回で日本一が1回。私は、阪神甲子園球場で2003年と2005年のリーグ優勝を観た事があります。阪神甲子園球場で、阪神タイガースが日本一になって胴上げを見る事が夢です。

～付度～ソントク

大和鉄螺工業(株)

辻 宏 二

森友学園問題を機に「付度」という言葉をよく耳にするようになった。ネットでは2017年の流行語大賞になるのでは?とも言

われている。

そもそも「付度」とはどういう意味か?辞書を引くところある。「他人の気持ちを押し量る事」。元来は単純に相手の気持ちを推測する位の意味合いで使われていたようである。

しかし、ここ十数年で上役などの意向を押し量る場合に使う用法が増えてきているようである。本来、役所や企業の中では良いものは良い、悪いものは悪いと判断しなければならないが、「これをすれば社長の機嫌が悪くなるので止めておこう」のように、論理性・合理性以外の要素が含まれる場合に「付度が加わる」という使われ方になっている。「付度」という言葉が悪い雰囲気をイメージさせるようになってきているのかもしれない。

子供たちに「もっと他人の気持ちを付度しなさい」と言うのと「もっと他人に媚び諂いなさい」と言っているように思われるかもしれない。松井大阪府知事は今回の森友学園問題に関連し「良い付度と悪い付度がある」と述べ、「政治家は国民の思いを付度して政策を進めていく」と述べた。付度に良いも悪いも無いのが本来なのであろうが、元々は良い事として使われていたように思う。

福沢諭吉は著書「学問の独立」の中で付度という言葉で以下のように使っている。

「伐柯其則不遠、自心をもって他人を付度すべし」

伐柯其則不遠は“えをきるそののりとおからず”と読み、斧の柄を作るため木を伐るときは、木を伐ろうとしている斧の柄を手本にするという意味であり、事を成す時には答えは自身の近くにあり、他人の気持ちを押し量る時には自分の心と照らし合わせれば良い、という意味に私は捉える。

他人の気持ちを付度した時、自分が良いとか嬉しいとか感じる事は率先して行うべきであり、悪いとか嫌だと感じる事は他人に対して行うべきではない。

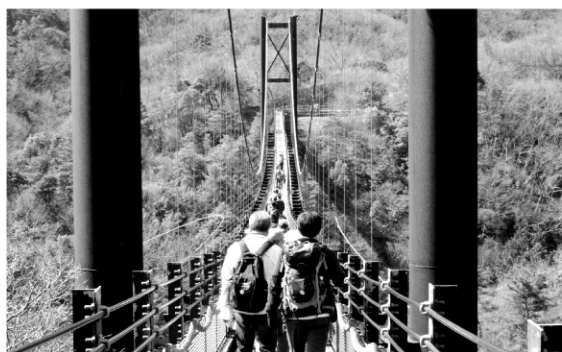
非常に単純な事であるが、人間関係を形成するには最も重要であると思う。「さあ! みんなで他人の気持ちを付度しましょう! 良い意味で!!!」

見事な眺望に感動

大鉄協&関西ねじ 第2回 合同ハイキング

関西ねじ協同組合様との合同行事として、4月2日に2組合合同による第2回目のハイキングを実施しました。当日は両組合より9社23名が参加。春の日差しが降り注ぐ暖かい天候の中、豊かな自然や壮大な景色を楽しみました。

企画では合計6回にわたり生駒山系を南北に歩く予定となっています。第2回目となった今回は第1回目のゴールとなっていた京阪私市



「星のブランコ」を渡る一行

駅からJR四条畷駅までの約15kmのコースを6時間かけて歩きました。参加者は午前8時半に京阪私市駅に集合。世話人の一人である増谷理事長からコースについて簡単な説明があった後に歩き始めました。

当日は初めに国道168号線より「ほしだ園地」に入り、途中休憩を挟みながらなだらかな山道を1時間程度歩きました。その後は地上高50m、長さ280mのつり橋である「星のブランコ」に到着。記念撮影を行った後に見事な眺望を楽しみながら吊り橋を渡りました。

山頂付近の展望デッキで再び記念撮影を行った後に、戎公園（四条綴市）で昼食休憩。ぽかぽかと暖かな日差しの下互いに交流を深めました。昼食後は堂尾池を横切り、室池工作館で再び休憩。その後約30分程度下り坂を歩き、参加者は15時前に無事四条綴駅へと到着しました。次回は10月29日に開催する予定となっています。

優勝は三木氏

大鉄協&関西ねじ 第2回 合同ゴルフコンペを開催

関西ねじ協同組合様との合同行事として、7月2日に第2回目となる合同ゴルフコンペを大阪府枚方市の「枚方カントリー倶楽部」で開催しました。当日は大鉄協より14名、関西ねじより26名が参加。(株)三木製作所の三木茂晴氏がグロス85の好成績で見事優勝を飾りました。

両組合より参加した10組40名はOUT・INに分かれ各々午前8時半頃にスタート。梅雨時の開催となった当日は好天に恵まれ、参加者は夏を思わせる暑い日差しが降り注ぐ中ダブルペリア方式で腕を競いました。

表彰式では増谷理事長が挨拶に立ち、「まずは交流から始め、将来は二つの組合で力を合わせて良いものを作っていきたい。今後は初の試みとして『ねじ川柳』を企画している」旨挨拶されました。続いて関西ねじ協同組合の北井啓之副理事長が「今日は和気藹々と交流ができた。今後もこういった機会を拡げていきたい

い」旨挨拶され、両組合の一層の交流を期待しました。

・当日の主な成績は次の通り(敬称略、数字はネット・グロスの順)

▽優勝/三木茂晴(三木製作所) 70.6[85]

▽準優勝/濱中雷太郎(フカヤ産業) 71.2[88]

▽3位/上田健(エコー) 72.0[96]

◆ベストグロス

山川佳秀(山川鉄螺製作所) 82



参加者による記念撮影

OS会の頁

前社での経験

(株)丸正ネジ
下 村 崇 史

私が丸正ネジに入社したのが、今から約4年前。以前は自動車部品・用品・工具の直需商社で約12年間働いておりました。その12年間は今の私にとっては大きな財産となっております。約12年間で2社経験させていただいたのですが、1社目で自動車部品・用品の知識・営業力を身につけ意気揚々と2社目に引き抜かれた感じで入社したのですが、入社して1～2年目は全く結果が出せない日々が続きました。

そんな中、社長が新しい経営方針を打ち出しました。その名も「ありがとう経営」です。ありがとう経営とは、顧客は当たり前、社員同士またはそれを支えてくれている家族と関わりのある全ての人に感謝を伝え、感謝される行動をしようという内容です。それをある年の新年早々に聞いたときは、「どういう事?」「実際どうするの?」など全く理解出来ずにいました。

しかし実際は頭の隅っこにその言葉があったのか、いつもとちょっと違う視点で顧客に接している事がある時に気付きました。今までは営業先で、部品の営業しかしていなかったのですが、その日以降は決まって「何か困った事とかありませんか?」や、年齢が近い人達には「何か悩みとかない?」と自然と聞くようになり、実際その困った事、悩んでいる事を、少しずつ解決して行くと、自ずと顧客から歩み寄ってこられる事が多くなりました。そのお陰で自身の売上も、以前とは比べ物にならないぐらいにアップしました。

ここで以前の会社で最も印象のあった事例を紹介します。ある整備工場を営業で訪問した際、社長から「売上が深刻で、このままやったら会社潰れるわ。どこか紹介して!!」と言われたので、色々な所に話を持って行ったのですが、中々見つかりません。そんな中、ある大手

のレンタル建機会社を飛び込みで営業に行った際、「部品も欲しいけど、整備してくれる工場ない?」との事。「きたー!!」と大声を張り上げたい気持ちを抑え早速、その整備工場を紹介。無事にお話も進み、契約も取り付け、両社からも感謝をしていただきました。このような経験談や実際あった事例などを現在社内で教育の一環として話し合う時間を設けています。また丸正ネジのユニフォームにも感謝という文字が胸に刻まれており、日々の業務でそれを忘れない様にもしております。常に会社に、社員に、顧客に、家族にまたこのねじ業界すべてに感謝を伝え感謝される行動を心がけねじ業界の発展に少しでも貢献していきたいと思っている所存でございます。

地元

藤本産業(株)
藤 本 翔 平

奈良健康ラウンド♪CMで慣れ親しんだメロディー。関西出身の方はよく御存知ではないでしょうか。私は奈良健康ランドがある奈良県で育ちました。奈良で生まれ育ってよかった。心からそう思います。しかし、そんな私の気持ちをよそに他府県の方には幼少期の頃からいじられ放題です。「遊ぶ所あるん?」「大仏以外何もないやんな?」…またああ! 「鹿せんべいもおやつで食べるん?」「庭で鹿飼ってるんやんな?」…おおおい。

でも、もちろん良い所もあるんですね。奈良市内に住まれた経験がある方にはわかって頂けるとはと思いますが、アクセスは抜群です。大阪市内も近鉄電車でシュッとすぐに行っちゃいます。下手をすれば大阪府下の方よりも早く着くんじゃないでしょうか。そして、都会すぎず、田舎すぎず、住むのに丁度よい環境なんです。

ただ、残念ながら奈良市内近郊は遊びに行くところが少ないのも事実です。幼少の頃に遊び

に行った菖蒲池遊園地、奈良ドリームランドも閉園してしまい、今は生駒山上遊園地、イオンモールがメジャースポットという悲しい現実です。「夏といえど！」の海も奈良にはありません。海水浴なんて大事件です。シーズンに1回でも行けばすっかり夏を満喫した気分になります。

そんな私でしたが、縁あって出会った妻の田舎は京都の北部、天橋立の近くです。鹿(奈良と違い野生)が毎日出現するような場所でノビノビと育った妻は、とにかく外で活動することが大好き。私の何倍もアクティブです。妻の実家に帰省した時は、海が近いので、公園に行くような感覚で「さ、海いこか」ときます。「えー車汚れるやん！」なんて心の小さい私の想いは決して届きません。しかし、妻に煽られ一緒に無理して出かけているうちに、少しずつ私の行動範囲も広がりました。環境って大事ですね。

夏が近づけば蛍を見に行き、川遊び、海水浴、冬はスノーボード、そして釣りとすっかりアクティブになってきました。

生まれ育った土地で子育てしたいという思いがあり、数年前に奈良に戻りました。近いこともあり、最近のマイブームは冒頭のCMで有名な奈良健康ランドに入り浸ることです。お風呂に入ったり、サウナで汗を流したり、食堂で1杯呑んだり。1日中とてもリラックスした時間を過ごせ、本当に最高です。やっぱり全然アクティブじゃないですね。

今年の夏も暑い日が続いています。ますます室内が快適です。アクティブな妻に対抗し、声を大に「さ、奈良健康ランドいこか！」とアクティブに発信していきたいと思います。

何が言いたいのかわからない、乱文にて大変失礼しました。やっぱり地元がいいですね。アモーレ奈良。

業務委員会 ファスナーカレンダー 2018年 ねじ手帳 発刊 ビジネスダイアリー

業務委員会(垣内龍夫委員長)では例年通り「2018年(平成30年)版ファスナーカレンダー」「ねじ手帳」「A5ノート版ビジネスダイアリー」の発刊を予定しています。いずれも年末・年始の贈答用として11月20日を納期として現在準備を進めています。

【「A5ノート版ビジネスダイアリー」

2018年版】

縦210mm×横148mm、224頁(「ねじ一覧表」として写真付12頁、ねじ重量表及びねじ規格表として40頁、その他は一般手帳に準ずる)。表紙は高級ビニール装で、今年の表紙は藍色となっています(のし袋付)。

【「ねじ手帳」2018年版】

縦型(縦150mm×横92mm) 224頁・切り取りミシン付メモ16頁(「ねじ一覧表」として写真付12頁、ねじ重量表及びねじ規格表として40頁、鉄道線路図、その他は一般手帳に準ずる)。表紙は高級ビニール装で、今年の表紙は金茶、

リボンはクリーム・エンジの2本(のし袋付)。

【ファスナーカレンダー2018年版】

A2判3色刷・縦型・厚手高級再生紙使用・表紙付7頁、綴じ方はエコプレス(紙製)。カレンダー6枚の地色はそれぞれ異なるカラーリングとなっています。

掲載ねじ製品写真は、市場価値の高い製品を選び、かつ一般に広く用いられるよう呼び名と英文を表記。「ねじ一覧表」としても利用できるように配慮した内容となっています。また「イラスト入りねじ安全使用取扱」の説明をリニューアルしました。



ファスナーカレンダー表紙

労務委員会 スリーボンド・特殊発條興業を見学

労務委員会(梅田真吾委員長)は、6月2日に工場見学会を開催しました。当日は21社より40名が参加。スリーボンドファインケミカル(株)加東工場と特殊発條興業(株)伊丹工場をそれぞれ見学しました。



挨拶する梅田委員長

スリーボンドファインケミカル(株)加東工場ではボルト・ナットにゆるみ止め、シール効果など様々な機能を持たせる「プレコートボルト」の加工工程を見学しました。同社加東

工場では年間3億3000万個(※昨年実績)のボルト・ナット等各種ねじ製品に加工を施しており、同製品は輸送機器や電気電子関連、インフラ関連など幅広い分野で使用されているとのことでした。

当日は製品の受け入れから出荷に至るまでの全10工程について説明を受けた後に見学。見学後は同社の工場長である南畝章氏が「要望があれば別途機会を設けて工場見学をお受けしたい」旨挨拶されました。

特殊発條興業(株)伊丹工場(兵庫県伊丹市)ではばね座金をはじめ、テーパースナップリング等の止め輪類など各種ばね製品の製造工程を見学しました。

創立1938年の同社は各種座金類が売上全体の約6割を占めており、ばね座金・波型ばね



見学の様子

座金、皿ばね座金、平座金は月間700トン、月産5億個を生産しているとのこと。当日は会社概要について説明があった後に4グループに分かれて工場見学を実施。波型ばね座金の製造ラインや、熱処理工程として焼き割れ・変形を軽減する連続オーステンパー炉を、また高精度の板厚偏差の加工を可能にする両頭研磨機や同社保有設備では最大の出力を誇る630トンのプレス機等について説明を受けました。

見学後は梅田委員長が挨拶に立ち、関係者への御礼と共に「様々な設備を見せて頂き皆さんも刺激を受けたことと思う。我々の業界では日々ばね座金を扱うが実際に工場を見学する機会は貴重だ。今日得た知識を今後に活かしてほしい」旨話しました。この後記念撮影を行い、参加者は午後5時頃に無事帰阪しました。



参加者による集合写真(スリーボンド)



参加者による集合写真(特殊発條興業)

第30回 FE スタンダードセミナー開催 労務委員会 21社から43名が参加



講師の西川氏

労務委員会(梅田真吾委員長)は、第30回目となる「FEセミナー(スタンダードコース)」を3月3日・4日の2日間にわたって鐵鋼会館で開催しました。

当日は21社より43名が参加。日本鉾螺(株)の西川倫史社長を講師として招き、ねじとその関連技術について学びました。

セミナー初日に行われた開講式では初めに増谷理事長が挨拶に立ち、「IT化等により業務のあり方が変わることはあっても、ユーザーから信頼してもらえるような知識・経験を積む

ことが非常に大切であることには変わりはない」旨話しました。また続いて梅田委員長が挨拶に立ち、「今後ねじについて学ぶ際の“引き出し”にできるよう2日間頑張ってもらいたい」旨話し受講者を励ました。

毎年恒例となっているこのセミナーは、主に入社3年目以上の社員を対象としてねじについてより応用的な知識を学ぶ機会を提供しています。また、今年10月からは組合認定の検定制度として新たに(株)NQA-Japan 監修による「FE検定」が始まる予定となっており、検定はスタンダードコースからの出題が検討されています。

初日の講義終了後には交流会が開催され、会場では積極的に名刺交換をする姿が見られるなど交流を深める機会となりました。

野島製作所が優勝

福利厚生委員会 第43回ボウリング大会

福利厚生委員会(本田裕久委員長・当時)は、2月26日に恒例の「ファミリーボウリング大会」を弁天町グランドボウル(大阪市港区)で開催しました。今年は合計18チーム、54名がボウリングを楽しみました。

ゲームの後の表彰式では優勝した野島製作所チーム(海中一泰、海中美幸、野島淳の各氏)をはじめ、本田委員長より優秀な成績を残した個人・チームにトロフィーなど記念品が手渡されました。

当日の主な成績は次の通り(敬称略)

▽団体(1チーム3名、数字は3ゲーム合計。ハンデ含む)

優勝=野島製作所(1869点)

準優勝=コノエAチーム(1696点)

3位=コノエDチーム(1613点)

団体ベストゲーム=野島製作所(678点)

▽男子個人

優勝=橋本淳一(コノエ、706点)

準優勝=海中一泰(野島製作所、676点)

3位=大信拓也(コボリ、664点)

男子個人ベストゲーム=大信拓也(267点)

▽女子個人

優勝=海中美幸(野島製作所、734点)

準優勝=古津由香(コノエ、624点)

3位=荒井昭子(大丸鉾螺製作所、592点)

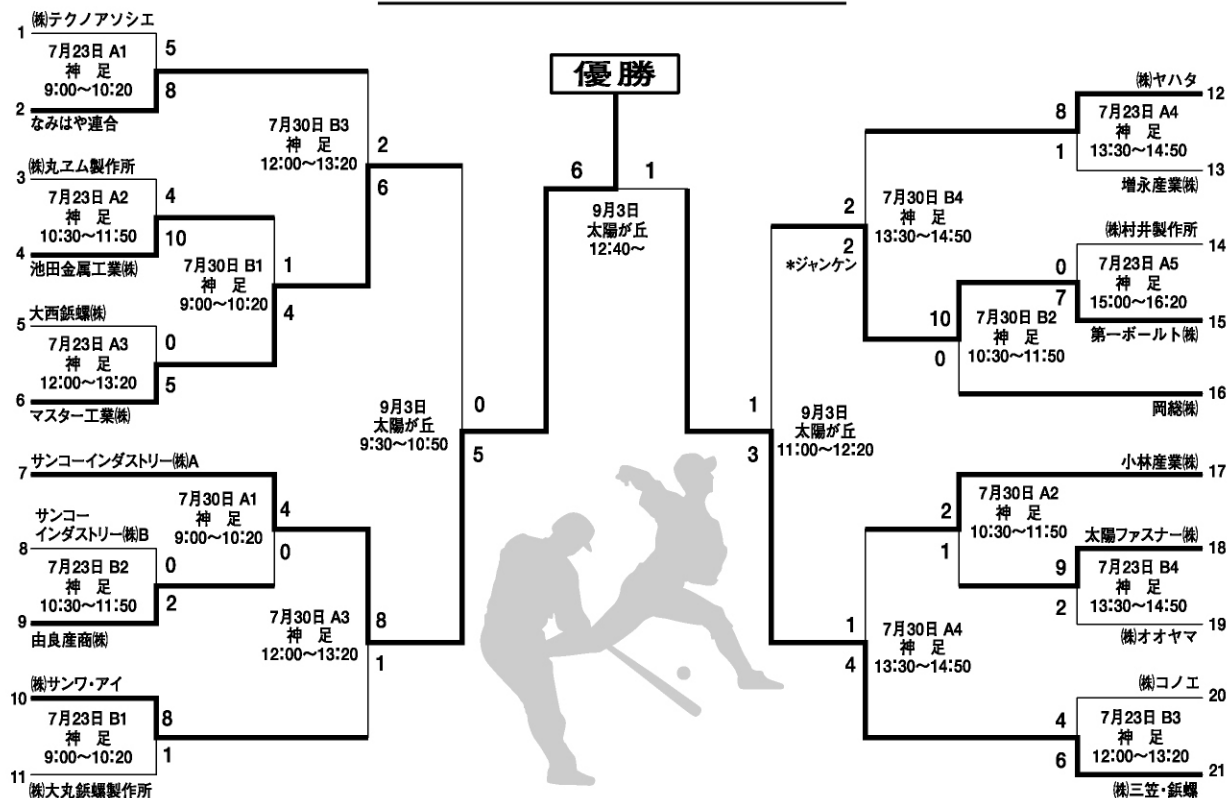
女子個人ベストゲーム=海中美幸(221点)

※ハイゲームの点数はいずれもハンデ含まず。



団体優勝・野島製作所チーム

大鉄協第69回野球大会



サンコーインダストリーが5連覇達成

第69回野球大会 準優勝は三笠・鉄螺

第 69 回野球大会の決勝戦が 9 月 3 日に京都府宇治市の山城総合運動公園（太陽が丘）で行われ、サンコーインダストリー A チームが三笠・鉄螺を 6 - 1 で破り見事優勝。5 連覇を果たしました。

今大会は好天に恵まれ、神足球場で行われた初日、二日目とも選手達は夏の日差しが降り注ぐ下澆刺としたプレーを繰り広げました。大会初日には増谷理事長と大会運営を行う福利厚生委員会の西出委員長による始球式が行われ、熱戦の火ぶたが切られました。

最終日の第 1 試合は、サンコーインダストリー A チームとマスター工業が対戦。3 回までは両チーム共に得点がありませんでしたが、4 回表サンコーインダストリーは木村選手の長打により先制。その後打線もヒットが続き、この一回一挙 5 点を得ました。マスター工業はこの裏、無死満塁のチャンスとなりましたが得点には繋がらず、5 - 0 でサンコーインダストリー A チームが決勝へと駒を進めました。

第 2 試合は三笠・鉄螺と第一ボルトが対戦。

3 - 1 で三笠・鉄螺が勝ちました。2 回の裏に第一ボルトが 1 点を先制しましたが続く 3 回の表、三笠・鉄螺が同点に迫りました。また、5 回の表には三笠・鉄螺の清水選手がこの日初めてとなるソロホームランを放ちました。三笠・鉄螺は最終回（7 回）にさらに 1 点追加。その裏、第一ボルトはヒットを放ちますが、三笠・鉄螺の堅い守備に阻まれ得点に繋げることができませんでした。

決勝戦はサンコーインダストリー A チームと三笠・鉄螺の試合となりました。初回、先攻となったサンコーインダストリーは足を活かして盗塁を続け、無死 2・3 塁に。片山選手の犠牲フライにより先制したのち北山選手の長打によりさらに 1 点を追加しました。

2 点を追いかける三笠・鉄螺は 1 回の裏、長打の後四球となり逆転のチャンスを得ますが、打線が続かず無得点となりました。サンコーインダストリーは 2 回の表に若狭選手による先頭打者ホームラン。追加得点となりましたが、三笠・鉄螺はこの裏長打の後ヒットを重ね

て1点を返しました。

4点を追う形となった三笠・鉦螺は6回の裏、二塁打の後犠牲フライで3塁まで進めましたが後が続かず、一方サンコーインダストリーは最終回の7回表でさらに追加得点。三笠・鉦螺はこの裏、逆転を目指し果敢に攻めましたがあと一本が出ず惜しくも破れました。

表彰式では、優勝したサンコーインダストリーAチームに真紅の大優勝旗ほか大阪府知事杯、大

阪市長杯、理事長杯などの記念カップ並びに表彰状や楯が増谷理事長より授与されました。また準優勝の三笠・鉦螺チームにも表彰状や副理事長杯などが手渡され、関係者の健闘を称える拍手に迎えられました。

この他監督推薦による個人賞として、木村光志選手(サンコーインダストリー)が最高殊勲選手賞に、佐野真緒選手(三笠・鉦螺)が敢闘選手賞に輝きました。



優勝・サンコーインダストリーAチーム



準優勝の三笠・鉦螺チーム

商・工併せて21人が参加 第8回ランニング同好会ひらく

増谷理事長が世話人を務めるランニング同好会は、第8回目となる活動を5月13日・14日の2日間にわたり大阪市北区の中之島公園一帯で開催しました。

前回(第7回)と同じく、関西ねじ協同組合と合同での開催となりました。当日は商・工合わせて16社から21人が参加。今回もスポーツ用品メーカーであるミズノさんの指導の下でランニングを楽しみました。

初日は荒天のため急遽午後からの開催となりました。この日の参加者はおよそ300mのランニングと筋力トレーニング+体幹トレーニングを繰り返す「サーキットトレーニング」で汗を流しました。トレーニング後には一人300mのチーム対抗リレーが行われるなどとても充実した内容で、ミズノさん曰く「このメニューだけでフルマラソンを走り切った人もいる」とのことでした。

2日目は晴天の中、大阪城を1周しながら

同じく筋力トレーニング、体幹トレーニングを実施。最後には心拍機能の増強を目的としてダッシュと休憩を繰り返す「ヒット」が行われ、爽やかな天候の下汗を流しました。

同好会について、世話人である増谷理事長は「こなすのが大変なメニューもあったが両日も皆さん堪能されていた。インストラクターの方にはランニングに関する相談にも乗って頂いた」と話しました。



当日の様子

シリーズ 私の宝物

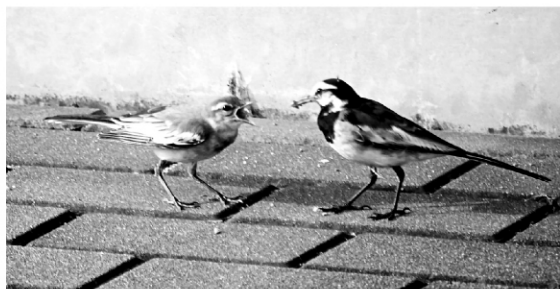
「人生が豊かになったカメラ」

(株)丸エム製作所

岩 崎 暁 生

蒜山高原へ向かう道のり、朝靄(あさもや)のかかる山並みが綺麗でカメラのシャッターを切ってみた。その時1羽の野鳥が足元に現れ、続いてもう1回シャッターを切った。ハクセキレイというどこにでもいる野鳥だが、嘴(くちばし)には捕まえた蛾をくわえていた。そして次の瞬間ヒナが現れエサを与える場面をカメラは捉えていた。その時は家族写真を撮るために何となく所持していたカメラだった。しかし親鳥がヒナにエサを与える「生命を感じる」写真を撮ったことで、感動のため身震いすると同時に本格的にカメラを始めたいという思いが沸き上がった。

その後、カメラを持って野山を訪れ野鳥を求めて幾度も歩いたが、野鳥は居て欲しい時には居らず、出会うことができてもすぐに逃げてしまい、素人の私には簡単に撮影できることではないと思い知らされた。“感動を再び”との思いが強かった私は、そこから行動や考え方が一変し、野鳥の種類や生態の調査を始めた。必要な機材・撮影技術・人脈・撮影マナーなども徹底的に身に付けた。この期間は約2年で、野鳥を追いかけて移動した距離は国内のみで約27,000km、切ったシャッター回数は15万回



を超えた。努力の結果、今では殆どのシチュエーションにおける野鳥撮影が可能となった。

自然に身を置き、そしてカメラを構えることが多かったこの数年、野鳥だけでなく風景や飛行機そしてスポーツや人物いろんなジャンルを学ばせてくれ、とても奥深いことを知った。最近では風景を撮影するためにテレビや雑誌でしか見たことがなかった地へ足を運ぶことも増え、仕事一筋で家庭を顧みなかった私が家族との時間を共有できるようになった。その後、妻と娘もカメラを趣味にするようになったのは、私にとってはこの上なく嬉しい限りだ。

カメラは日常の貴重な瞬間を切り取ることや忘れてはいけない大切な思い出を残すこともできる。そして感動した景色や感情そのものを詰め込むこともでき、気が付くと私の一部といっても過言ではないほど大切なファクターとなった。大袈裟な言い方かもしれないがカメラと向き合うようになってから、人生が豊かになった様に感じている。カメラの可能性は無限にあり、これからも今まで以上に多くの人に感動を与え、そして誇れる写真を撮影できるように自分磨きを続けたいと思う。



表紙のことば

横浜市開港記念会館

(株)コムウエル・フジサワ 藤澤 義弘

横浜市開港記念会館です。横浜三塔の内ジャックと呼ばれています。キングは神奈川県本庁舎、クイーンは横浜税関です。

残るべく残る良き建物もさることながら、残

るべく残る名曲もあります。ねじ商連当日残念な事がありました。昭和を代表する作詞作曲歌手の平尾昌晃さんの事です。奇しくもねじ商連の舞台はホテルニューグランドでした。

平尾昌晃さんの歌詞です。

横浜 たそがれ ホテルの 小部屋……

あの人は…

今後の主な年間スケジュール

2017.9

日 時				行 事 (予 定)	場 所
9	13	水	15:30	三役会	鉄鋼会館
	13	水	16:30	理事会	鉄鋼会館
	20	水		広報誌(93号)発行	
10	6~7		9:00	第24回 FEセミナー(図面の見方・描き方)	テクノセンター東大阪
	22	日	9:00	第9回テニス大会	シーサイドテニスガーデン舞洲
	25	水	14:00	FE検定	鉄鋼会館
	29	日	8:30	第3回 合同ハイキング(関西ねじ)	JR野崎駅集合
11	8	水	15:30	三役会	鉄鋼会館
	8	水	16:30	理事会	鉄鋼会館
	16	木	9:00	第6回 FEセミナー(Jrコース)	鉄鋼会館
12	1	金	16:30	講演会	スイスホテル
	1	金	18:30	忘年会	スイスホテル
2018 1	12	金	10:00	合同新年互礼会	シティプラザ大阪
2	14	水	15:00	三役会	未定
	14	水	16:00	理事会/役員懇親会	未定
	20	火		広報誌(94号)発行	
3	2~3		9:00	第31回 FEセミナー(Stコース)	鉄鋼会館
	4	日	10:00	第44回ボウリング大会	弁天町グランドボウル
	14	水	15:30	三役会	鉄鋼会館
	14	水	16:30	理事会	鉄鋼会館
4	18	水	13:30	三役会	鉄鋼会館
	18	水	15:30	理事会	鉄鋼会館
5	23	水	14:00	通常総会	ヴィアーレ大阪
7	11	水	15:30	三役会	鉄鋼会館
	11	水	16:30	理事会	鉄鋼会館
	中旬			ねじ流通商社経営実態調査	(8月回収)
	22	日		第70回野球大会①	村田機械(神足球场)
8	29	日		第70回野球大会②	村田機械(神足球场)
	未定	日		第70回野球大会③	未定

*あくまでも予定ですので確認をお願い致します。

編 集 後 記

近年、異常気象と言う報道を良く耳にしますが、今年7/5~7/6に福岡県から大分県に掛けての九州北部で、観測史上最も多い降雨量が観測されました。まさに異常気象そのものです。最近、降雨、降雪に限られた地域に偏っており、自然災害の恐ろしさを、まざまざと見せつけられました。甚大な被害に遭われた地域の方々には、心よりお見舞い申し上げます。

寄稿頂いた皆様には心より御礼申し上げます。
本当にありがとうございました。

(尾崎正洋)

発行所

〒542-0081 大阪市中央区南船場2-6-10
(ツチノビル)

大阪鉄鋼卸商協同組合

電 話 (06) 6271-4550

印刷所

〒537-0013 大阪市東成区大今里南2-5-5

株式会社 ベン・アート

電 話 (06) 6973-3338

大阪鋌螺卸商協同組合の 保険相談窓口

大阪鋌螺卸商協同組合では、組合員の皆様のための、保険相談窓口をご用意しております。既にご加入の保険の見直しや、新たにご加入になるときのご相談等を承っておりますので、是非ご利用ください。

取扱商品



生命保険

火災保険

医療・がん・傷害保険

超保険
超ビジネス保険

自動車保険

賠償責任保険



* 生命保険・医療・がん保険のお引き受けは、東京海上日動あんしん生命(株)の商品で(株)東海日動パートナーズかんさい 大阪南支店にて引き受けとなります。

この他にも多数商品を取り揃えております。
お見積もり、ご相談は無料ですので、
お気軽にお問い合わせください。



お問い合わせ先

大阪鋌螺卸商協同組合

担当：中西

提携代理店

株式会社東海日動パートナーズかんさい

大阪南支店 担当：井上

〒541-0041 大阪府中央区北浜2-6-26 大阪グリーンビル4F

引受保険会社

東京海上日動火災保険株式会社

大阪南支店 直轄 S

〒542-0081 大阪府中央区南船場2-6-10

ツチノビル

TEL 06-6271-4550 FAX 06-6271-0514

TEL 06-4963-2813

FAX 06-4963-2814

TEL 06-6203-0821